



HOME > SDGs >

SDGs 気候変動

脱炭素社会とSDGsの関係とは？世界と日本の実情と取り組み事例

更新日：2022/07/11

二酸化炭素を始めとする温室効果ガスは、温暖化の一因となっており、気候変動を及ぼして地球環境に悪影響を与えています。

2021年のIPCCの最新報告書によると、以下のことが示されています。

- ✓ 海水減少の原因の90%が人間活動によるもの
- ✓ 近年の海面水位は1901～1971年と比べ3倍高まった
- ✓ 2040年までにほぼ確実に地球の気温は1850～1900年の水準から1.5℃上昇する
- ✓ 2050年までにほぼ確実に「ほとんど海水のない時代」がくる

出典：「温暖化は人間が原因=IPCC報告「人類への赤信号」と国連事務総長」（IPCC）

温室効果ガスの削減は、世界規模における大きな課題といえるでしょう。

この気候変動のリスクに対応するため、2015年には世界的にパリ協定が採択されました。

その実現のため、日本では2020年に脱炭素（カーボンニュートラル）を目指す目標を宣言しています。

地球温暖化は、自然災害や農林水産業といった分野に影響を及ぼします。

解決を目指すには脱炭素の実現のほか、飢饉や貧困への対策などのあらゆる施策が必要です。



Greenroom社概要

Company Overview | 2022.8.1



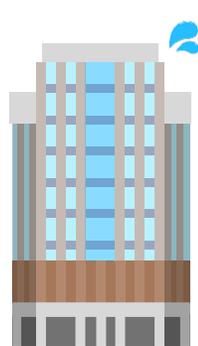
持続可能な生産・消費サイクルを生み出すことが
社会全体のサステナビリティを実現する唯一の道

解決したい課題

サステナブルって
なんだろう・・・



サステナブルって
売れるの・・・？

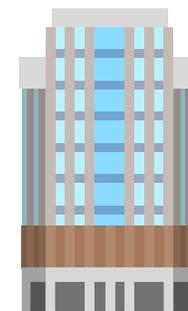


目指す生産・消費のカたち

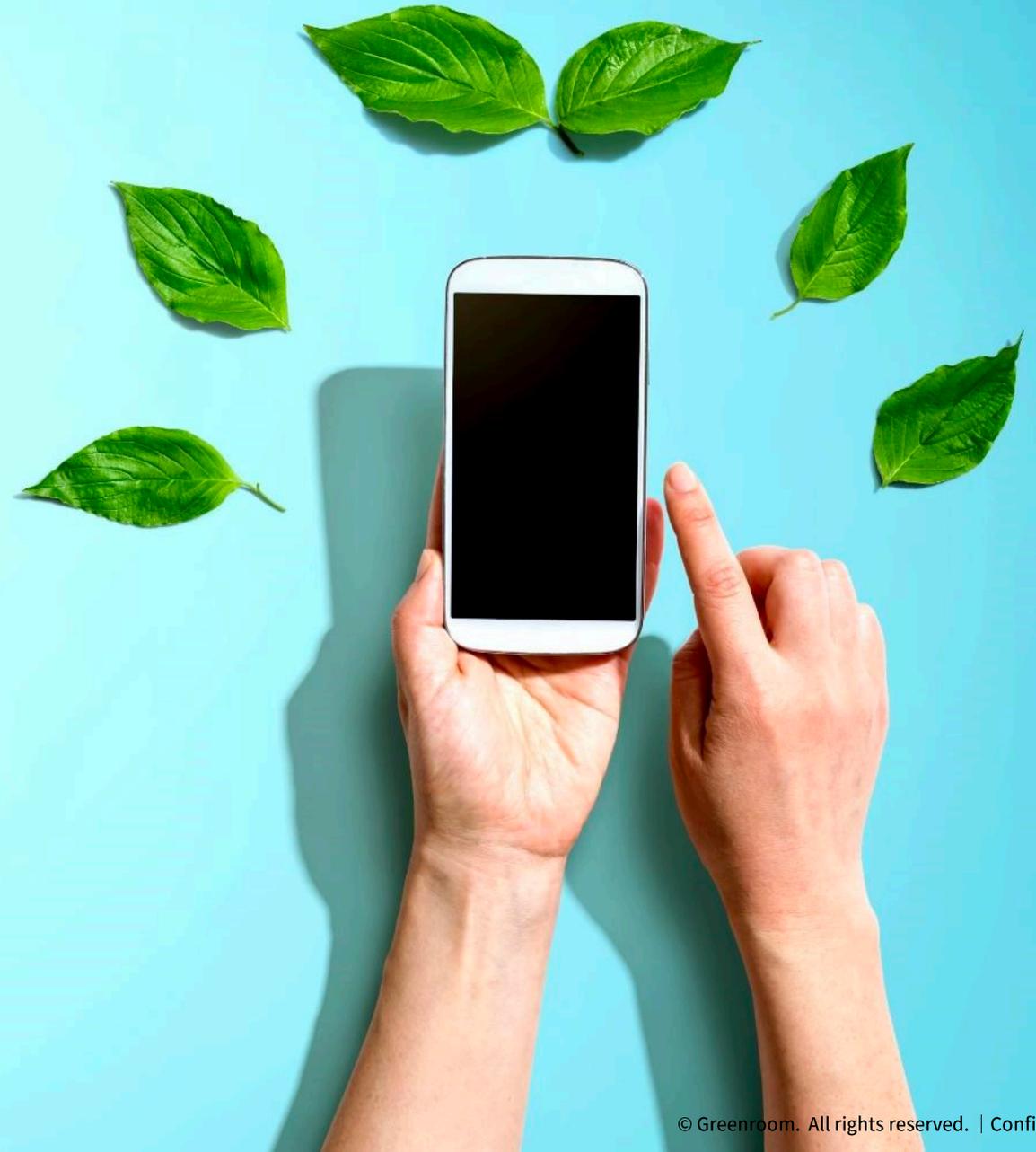
サステナブルな商品を
購入したい!



サステナブルな
商品売っていこう!



Sustainability × Technology



顧客企業の“売れるサステナ”を

「① 最新の取組み、競合動向を知る」 「② 消費者を知る」 「③ 消費者に伝える」 で支援



GREEN NOTE

世界初、世界唯一の サステナ専門ニュースアプリ

※as of July 2022/自社調べ

グローバルメガトレンド、競合の動き、最新のテクノロジーなど、ユーザーの興味関心に合わせて、価値のある最新情報が配信されるニュースアプリです。

GREEN NOTEは、日本を代表するアイコンである東京タワーのオフィシャルメインSDGsパートナーメディアです。

コシノジュンコさんをはじめ多くの有名人が出演するなど、サステナ・SDGsアプリとして急成長しています。



サステナ最新情報を最も見やすい形に

- 200+ のメディアをカバーして毎日配信
- 価値あるニュースを厳選、ノイズとなる情報を除去

パーソナライズド

- AIがユーザーの興味・関心を分析、配信
- ジャンルごとに表示可能

ゲーム性

- 企業の商品、サービス開発プロジェクトに参加可能
- 参加すると商品と交換可能なポイントが獲得可能

GREEN NOTE PRO

サステナビリティやSDGsに関する取組みを強化していきたい企業様のニーズに合わせ、最新情報やオリジナルコンテンツなどを提供する法人向けプラン。

社内のサステナビリティに対する理解・浸透を進めたい企業様を中心に導入が広がっている。



PROと通常版の違い

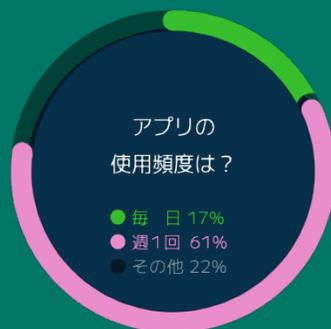
	GREEN NOTE PRO	GREEN NOTE 通常版
国内ニュースキュレーション記事	✓	✓
海外最新動向と事例 (オリジナル記事)	✓	一部
💡 ポイントが分かりやすいニュースレター	✓	
💡 社内浸透度をチェックするアセスメント	✓	
💡 サステナ新規事業創出セミナー	✓	

プランと価格

	3~9人	10~99人	100人以上
初期費用	0円	0円	0円
一人あたり月額	1,300円 (15,600円/年)	1,200円 (14,400円/年)	ご相談 ください※

PRO導入企業から高評価、 導入拡大中

▼福岡フィナンシャルグループ様ご利用の声



- 今まで自分でSDGsに関する記事を探していたが、その手間がなくなった。
- 通知機能のおかげでニュースを見る習慣ができた。有料サイトの情報こそ有益なものであると感じた。
- SDGsの情報は海外の方が最新であることが多いが、海外ニュースも翻訳してあるため助かっている。
- 携帯で気軽に確認、使用できる点が良い。

22年春 トライアル開始

22年夏 有料版利用開始

23年春 全行導入予定

2022年7月のプレスリリースがPR TIMES
の「いま話題」「旬速」とともに1位を獲得。
問い合わせ・導入が拡大中。



現在問い合わせが週2件ペースに増加

マーケティングリサーチ 2.0

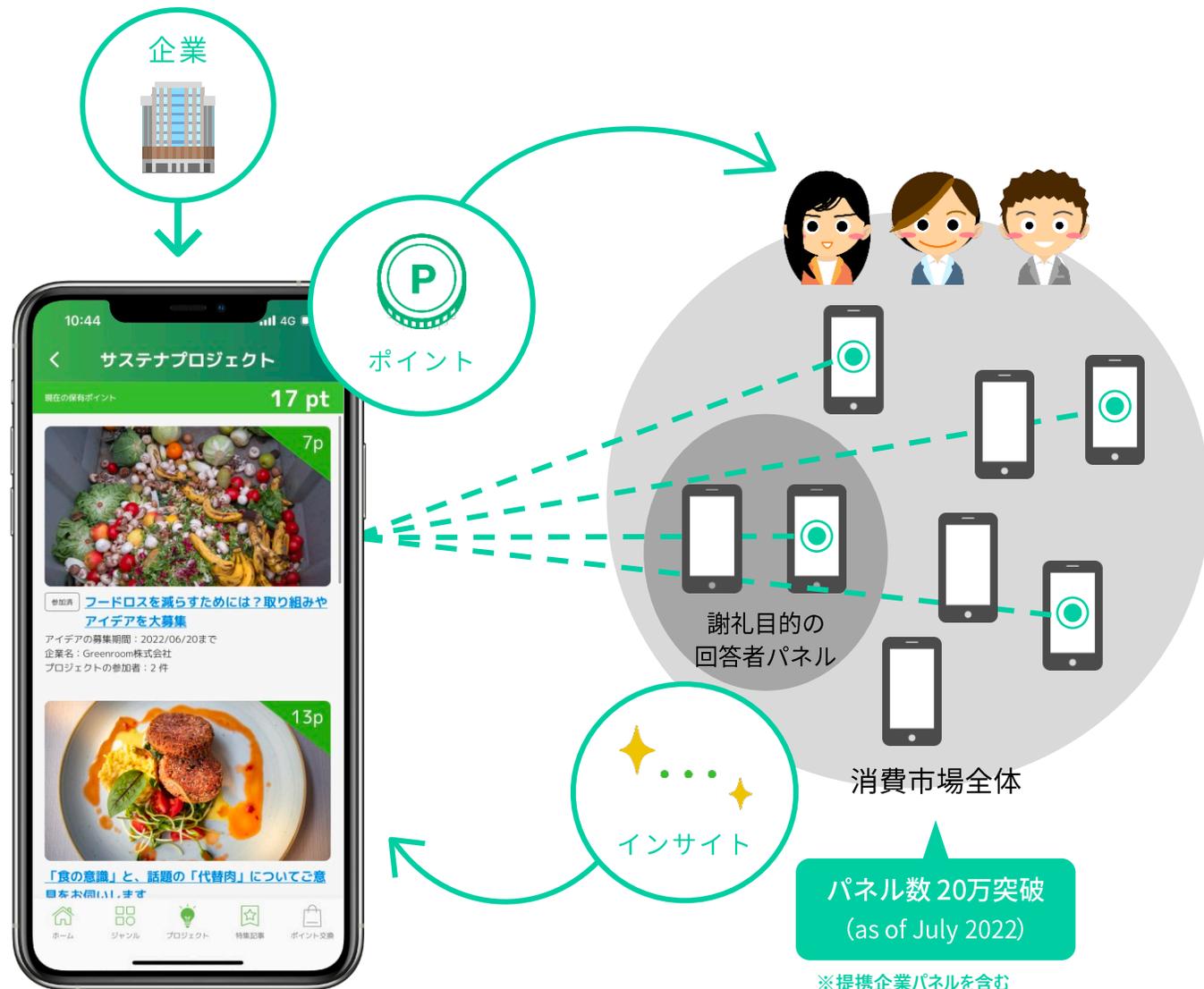
GREEN VOICE

ターゲットとなる 消費者層を正確に捉える

ランダム・デバイス・エンゲージメント

ユーザーに対し、モバイル端末を通して消費者市場全体の本当の声を引き出す、新たなマーケティングリサーチ手法です。

従来のWebアンケートではリーチ出来ていなかったパネル層にも、バランス良くヒアリングが可能です。



マーケティングリサーチ 2.0

GREEN VOICE

消費者の本当の声を 引き出せる

オーガニック・サンプリング・ メソドロジー

日常から切り離されることなく、
自然に使われるニュースアプリの中で
インサイトが届けられます

回答者を質問攻めにせず、無理に回答を
強制しません



【オーガニックサンプリング】

リサーチ関連テーマに関するニュース・記事
を見ているユーザーを対象に質問



【定性調査・定量調査】

企業からの質問に対しアプリユーザーが
インサイトを提供

GREEN Voice トライアル実績

Panasonic様

再生エネルギー100%の電力プランを 実現するプロジェクト
 についての意見を収集



SUNTORY様

「環境負荷の少ない、美味しいおうち珈琲」というコンセプトで、
 焙煎機を詰んだ珈琲屋台の市場性リサーチに活用



About Greenroom (Appendix)

Greenroomは、サステナ・SDGs領域に強みを持ち
調査・分析・商品開発・PRを支援するテック企業です

企業名	Greenroom株式会社
本社所在地	東京都新宿区新宿1丁目36番2号新宿第七葉山ビル3階
代表	山崎 修平
設立	2020年9月1日
資本金	3,200万円
Website	https://greenroom.eco



ひとの
ときを、
想う。 JT

 福岡銀行 熊本銀行 十八親和銀行
IMPACT CAPITAL

And more...



山崎 修平 / CEO

大阪大学基礎工学研究科修了。米ミシガン大学経営大学院修了 (MBA)。

学生プログラムでアフリカに滞在、社会課題に高い関心を持つ。Panasonicの家電部門でエンジニアを務めたのち、同NYオフィスの経営企画室で北米事業の経営戦略策定および事業開発に携わる。その後Amazonへ転じ、Alexa事業のプロダクトマネージャーとして勤務。テクノロジーおよびプロダクト領域において豊富な経験を持つ。



仲間 歩 / CFO

慶応義塾大学商学部卒。税理士。

KPMG、PwCを経て南カリフォルニア大学大学院MBTコース(PwCプログラム)を修了後、米国PwC NYオフィスに出向、クロスボーダーM&Aやストラクチャリングに携わる。

帰国後はPwCサステナビリティセンター・オブ・エクセレンスで勤務、サステナビリティ成長戦略策定やESG影響定量化ツール開発、財務・非財務情報の開示支援などの経験を有する。

GLIN Impact Capital バリュアアップチーム パートナー。



小山 直輝 / Chief Design Officer

東京藝術大学美術研究科修了 (MFA)。London、NY、および日本で複数のITスタートアップ・メガベンチャーのArt Directorを歴任。リードデザイナーとしてGreenroomに参加。



筒井 美帆 / Media Editor

広告代理店にて、複数企業のコンテンツマーケティング運用やSEOコンサルを経験。母親の出身国タイとのマーケティング貿易会社の代表を務めた。メディア編集長としてGreenroomに参加。



高橋 祐樹 / Lead Engineer

独力でプログラミングを習得、複数のIT企業でソフトウェア開発責任者を歴任したのち、システム受託開発会社を創業。リードエンジニアとしてGreenroomに参加。



濱本 隆太 / Chief Sales Officer

Panasonicでソリューション営業、新規事業責任者を務める。事業立ち上げのエキスパートとして大企業、行政、スタートアップで幅広く活躍。営業戦略のリーダーとしてGreenroomに参加。



石井 恭太 / Media Development Lead

GEO、DeNAメディア事業統括を経て、メディアエンジンを作成。COOとして事業成長をリードし、2020年に会社を売却。メディア戦略のリーダーとしてGreenroomに参加。



W.Scott Simpson / Foreign Development Lead

The Citadel, The Military College of South Carolinaで経営学理学士号取得後、NY投資銀行E.F. Hutton Companyで勤務。その後、ウォルト・ディズニー・カンパニー・スタジオでビジネス開発ディレクターを務めた。米国事業開発リードとしてGreenroomに参加。



VISION

生産と消費のカタチを変革し
持続可能な社会を実現する

MISSION

サステナビリティを、加速する

現代において、責任ある全企業が会社の全体方針に据えるサステナビリティ・SDGsを抑えながら、
情報提供、商品・サービスの開発、PRまでを支援できるのはGreenroomだけ





Greenroom